

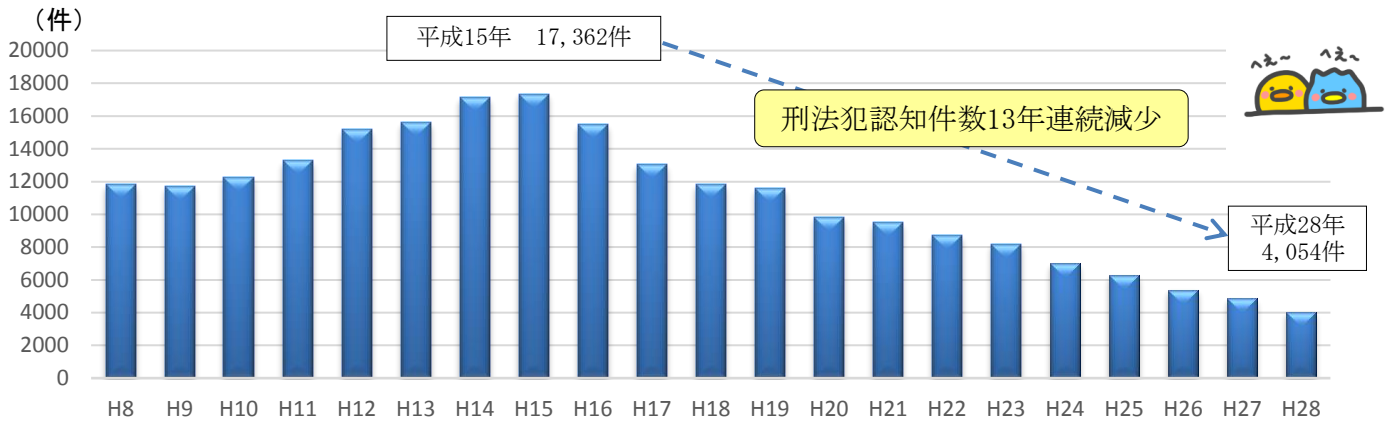


平成28年の大分県の犯罪情勢

～刑法犯認知件数13年連続減少～

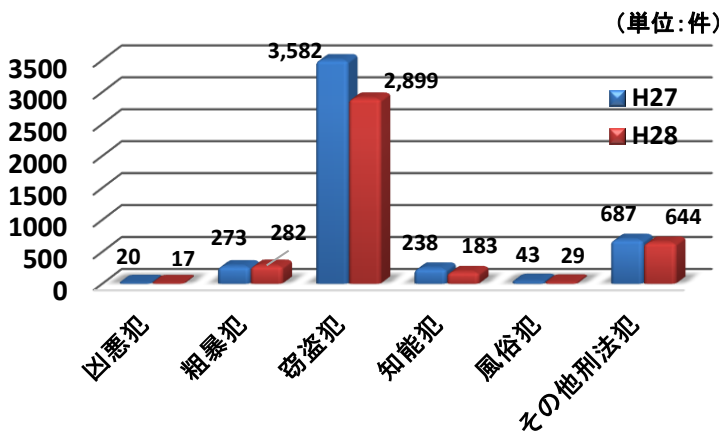
1 刑法犯認知件数の推移

※「刑法犯」とは、交通事故にかかる罪を除いた「刑法」に規定する罪などをいいます。
※認知件数とは、警察が発生を認知した事件の数をいいます。



○大分県の刑法犯認知件数は、平成10年から平成15年にかけて増加し、平成15年には1万7,362件に達しましたが、平成16年から減少に転じ、平成28年は4,054件と、ピーク時の4分の1以下にまで減少しました。

2 刑法犯罪種別認知件数



粗暴犯が増加しましたが、その他は、いずれも減少しました。
最も多く発生したのが窃盗犯ですが、前年から大幅に減少しました。

- ・凶悪犯～殺人・強盗・放火・強姦等
- ・粗暴犯～暴行・傷害・脅迫等
- ・知能犯～詐欺・横領等
- ・風俗犯～強制わいせつ・公然わいせつ等
- ・その他刑法犯～器物損壊・占有離脱物横領等



ピンク

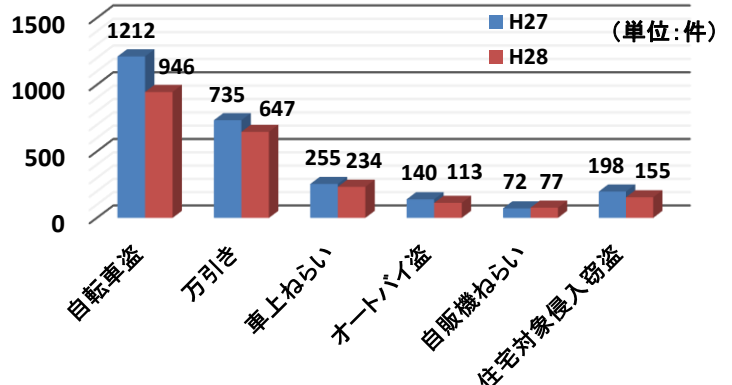
3 主要な窃盗犯の内訳

○自転車盗が大幅に減少し、その他の犯罪も多くが減少しました。



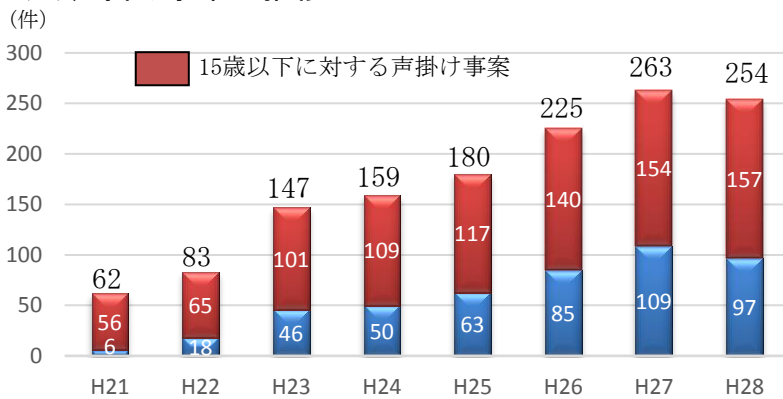
かける君

自転車盗や車上狙い、侵入窃盗などは、鍵かけで被害を防止することができるよ！！
これからはしっかり鍵かけ、ツーロックをしてね！！



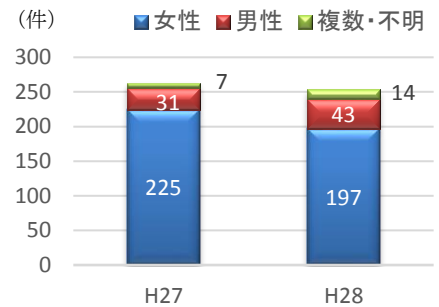
4 子ども・女性に対する声掛け事案認知件数

(1) 声掛け事案の推移



○声掛け事案件数は増加傾向ですが、一概に、「件数増加＝治安悪化」というものではありません。事件に至らない段階のうちに対応することで、大きな事件に発展することを未然に防止することができます。

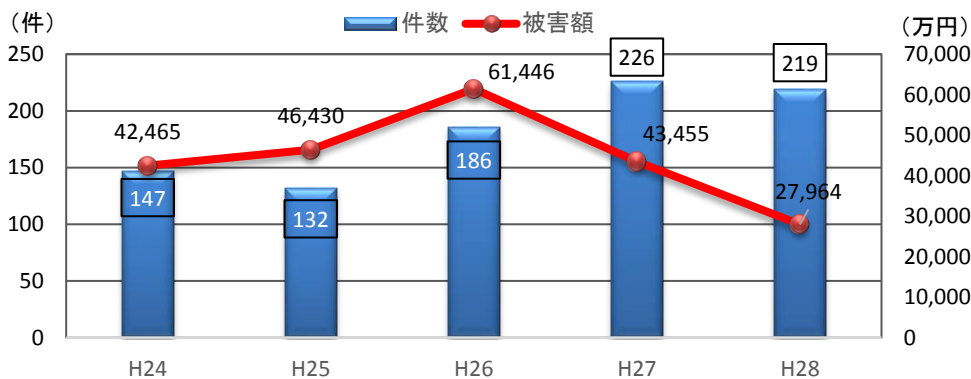
(2) 声掛け対象者の性別



声掛け事案を見聞きした際は、積極的に通報してください。



5 特殊詐欺被害発生状況

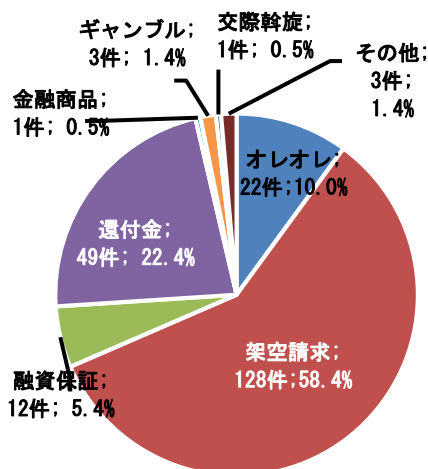


○被害額は大きく減少しましたが、被害件数は高止まりの状況が続いています。
○不審な電話、メール等があった場合は、警察に相談をしてください。



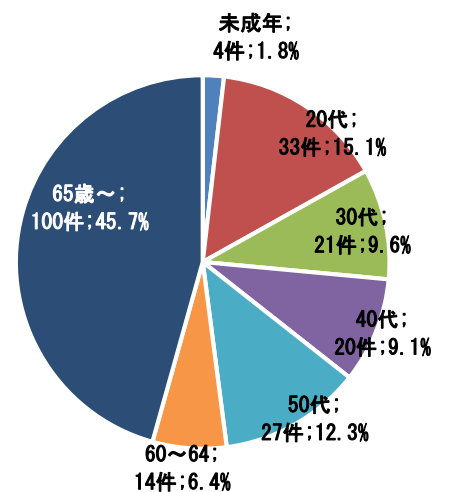
6 特殊詐欺被害の手口別・年齢別割合

(1) 被害者手口別割合



○架空請求詐欺と還付金等詐欺の被害件数が増加し、特に架空請求詐欺被害は特殊詐欺被害の半数以上を占めました。
○年々、高齢者(65歳以上)以外の被害割合が高くなっています。
○架空請求詐欺被害者の約8割は高齢者以外の被害です。

(2) 被害者年齢別割合



大分県警では、「日本一安全な大分」の実現に向けて、県民の皆さんの期待と信頼に応えるべく力強い警察活動を展開していきます。
今後も御支援、御協力をよろしくお願いいたします。